宗像

毎月一日発行
発行所
宗像大社
福岡県宗像郡玄海町
電話神湊133番
定価一年 送料共500円

勅祭社昇格請願運動を推進

"全国崇敬者各位に御支援願って"

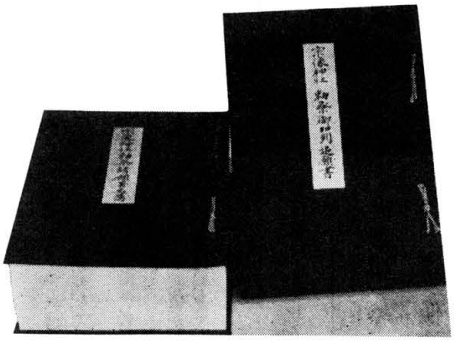
全国の崇敬者、また宗像郡民の永年に亘る宿願であった当神社の勅祭社御昇格請願運動を、新春明治百年を期して強力に推進する運びになった。

勅祭社とは明治の初年に制度化された神社の高貴な社格名であって、その神社の例大祭に際しては畏くも天皇陛下から特に勅使を派遣され、最高の待遇を受ける社を言う。

古くは延喜式（927年）に制度化され、特に皇室の御崇敬厚い神社には勅使をつかわして内蔵寮の幣帛を奉って祭儀が行なわれていたが、明治2年（1868年）新たな制度が作られ現在に至っている。

近世に於ける当神社の運動は、明治の中期より初められ、昭和十八年には神祇院に於て考察がなされ、勅祭の際儀を寸前に迎えたが、このたびの大戦により、すべてが水泡に帰してしまった。

戦後、民心の安定をまち、去る昭和三十五年、現久保宮司の手によって戦後初の勅祭社昇格上申書が、宮内庁に提出されたが、戦後の神社界ではその前例もなく難航を続け現在に至った。



しかしその間に宗像神社史上下両巻が完成、神社の並々ならぬ神格が明らかにされ、この社史を早速宮中に献上した。その後関係各位の協賛のもとに追願書を提出することとなり、去る十二月二日、神社本庁佐木統理を初め関係者同道のもとに宮内庁長官に再度提出が行なわれた。

新春は時恰も明治百年の佳節にあたり、この千載一遇の機会に陛下の御決定を仰ぐべく神社では総力を結集してこの仕事に取り組んでいる。またこの運動と並行して神社の境域も勅祭社としての形態を整える為、社殿境域の整備に着手している。

この大事業達成の為には、各位の絶大なる御協賛をお願いしなければなりません。今年は先ず崇敬者各位にこの趣意を御理解いただき、勅祭請願の署名をお願いする予定である。

勅祭社に昇格された暁には、愈々復興整備の大工事にかかる計画になっている。また当社関係者一同この意義深い新春に一層覚悟を新たにして、永年の宿願達成の為邁進いたす決意であります。

神具、装束
結婚式場用品
株式会社 井筒
福岡支社 福岡市吉塚西林寺町九四 西林寺内
本社 電話(65)五六六
京都市下京区油小路通六条北入六
電話 京都(35)六〇六・三三三番 七三七・九七六九番

宗像神社勅祭 御加列請願趣意書

近時世界の趨勢を見ますのに、物質文化の開発進展は、高度の機械文明の発達となって現れ、たために物質偏重の風潮がみなぎって、貴重な人間の精神生活を忘却する傾向を見せております。世界平和、共存共栄は、人類共通の理想として、その実現のために絶えず努力が続けられていますが、世界の不安と焦燥はなお解決いたしません。

真に平和の理想を実現するは、我が民族のすぐれた精神的伝統の中に存する互恵親和の道を考えねばなりません。その道の根源は民族悠久の生命と共に、脈々と生き続ける敬神崇祖の美風であります。すなわち、わが民族は建国以来、皇室を中心として発展し、君民一体の国是を護持してきましたが、その連綿として尽きない美風の源流は、実に神祇を敬仰し祖先を崇拝する伝統の精神にあります。この精神の復興が、国家の繁栄、国民の親和、社会の安定にとって、今日最も大切なことと言えましょう。

さて全国津々浦々にいたるまで、古くから多くの神社が祀られ、遠い祖先より祭祀を承継してきたのであります。私たちが裏伊勢として敬仰する宗像神社もまた、建国に先立って筑前宗像の地に鎮祭され、史上に見る幾多の変動の中にも絶えず広く一般の厚い崇敬をうけ、その祭祀が続けられてきたのであります。その御鎮座の意義には、まことに深厚なるものがあり、きわめて尊貴な御由緒を感得する次第であります。

由来この神社御鎮祭の宗像の地は、古くから神郡と称せられ全郡を神領として神社に寄せられ、従って神社と郡民とは深い関係を結んできました。故に郡民は、よく宗像大神御鎮座の意義をわきまえ、御神徳に添い奉ろうとして、挙郡一致、数十年来社域の整備復興に努め、祭祀の真姿顕現に尽してきたのであります。

畏くも、「歴代天皇の御奉祭を受け給えとの昌祖天照大神の御神勅」の御実現こそが、伊勢神宮と表裏一体の御祭祀であると恐察しますが、早く大正の御代に請願の議を起し、昭和二年より同三十五年にかけてしばしば当局に上申及んだのであります。中でも昭和十七年戦局激化の際、氏子全般の強い願望により、官民こぞって前記の趣意貫徹を神前に誓い、宗像神社復興期成会を結成して、その代表者等がたびたび当局に陳情したのであります。当局におかれても審議の結果、勅祭社御加列の候補神社として察請しようとの寡向であったことを、洩れ承っていましたが、その実現を見ないうちに終戦に帰りましたことは、まことに痛恨事と言う外ありません。

本会は戦後も、御由緒を明らかにするため、広く資料を集めて、「宗像神社史」の編纂を続行し、この程すぐれた学術書としての「社史」上下二巻が完成いたしました。これによって当神社の貴い御由緒が、詳細にわたって明確にされたのであります。

一方これよりさき、昭和二十九年より同三十三年まで、宗像三宮の一つである沖津宮に関する調査の目的で、前後数回学術調査団を沖ノ島に派遣しその実地調査を行ったのであります。その成果の報告書「沖ノ島」「続沖ノ島」の両巻を刊行しましたが、これによって精巧絢爛たる祭祀遺品二万余点（現在、国宝・重要文化財に指定終戦に帰りましたことは、まことに痛恨事と言う外ありません。）が発見され、古代に国家から奥大な神宝が奉献されて、荘厳極まりない祭祀が、波濤幾十里遠く離れた神の島において厳修された事実を知り得た次第であります。

宗像神社より上申の勅祭御加列請願の趣意は、縷くまでも皇室守護、国家鎮護の尊貴なる宗像大神の御使命の顕現にあるのでありまして、皇室・国家の隆運と民族精神の発揚とをはかられねばならない時、あたかも明治百年の感慨深い年を迎えさらに覚悟を新たにし、関係者一同誠心誠意この多年の願望を達成することに邁進したい所存であります。

宗像神社復興期成会

年越の大祓式斎行

当社恒例の年越の大祓式は、年末三十一日、夕刻五時に斎行された。

全国各地から返送された紅白の人形は約二万通を数えた。長谷川一夫等芸能人の人形も数多い。

夕刻四時半、この人形は唐櫃に納められて、神門前に供えられた。

定刻、久保宮司以下全職員、地元氏子関係者参列のもとに昔ながらの大祓の祠が読まれ、祓の神事が修せられた。この後、神職がこの人形を携え、江口の浜から人形を玄海に流してやった。

寒風の荒波の中に紙の人形はのまれ、諸々の罪、けがれは消滅したのである。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます
昭和四十三年元旦
宗像大社宮司
久保輝雄
他職員一同

宗像会員諸賢の御清栄を遥かにお祈り申上げます
社報「宗像」編輯部

阿蒙少言

初冬一日の暇を得て、筑後路に車を駆る。若き日菫花一朝の夢を追い、老いの今渓谷静寂雨を懐しむ。旧邸の黄葉、黄昏の伽藍、よいかな人生、わきても日本に生れた幸は ○醉餘の一声「先生は何となく熱わしく、何となく怖い」と「そうだよ、人生は終極何となくに帰結する。何となく好き、何となく嫌い、この〝何となく〟に妙味がある。現代は説明し過ぎる」と、語り合う老若の喜び。人間の味は真実を聞く、聞かせるところにある ○「こんな扱いにくい人を、三十何年も。奥さんの苦労は大変でしたでしょう」と霽骨に言わめが、よく知る来訪者の口の端がもちらす。老妻は猛獣飼育のベテランを誇る日もあろう。かくて変吻も、その家庭も平穏無事とある ○さもあらばあれ、師走に臥薪嘗胆の宿願を遂げ、如月に桜花を待たず道に殉ず。世人これを素懐達成の義挙と讃えるが、四十七士いづれも悲劇の因を「風さそふ花よりもなほ我はまた春の名残をいかにとやせむ」の血気短慮の主君が辞世に発している。現代も同じ指導的地位の責任は重い。赤穂城の二の舞つゝしまねばならぬ。国破れて忠臣現われ、家貧しうして孝子出づ、家庭も国家も忠臣孝子の美談のないがよい ○在京メモ一つ、先頃の十一月十五日、七五三の祝いに、丸の内出光興産本社の宗像神社に、愛嬢をつれて参拝した人がある。祖先以来の氏神筑前の宗像本宮は、遠隔の地で勤務の郡合もあって参られない。勤めも同じ丸ノ内三丁目、出光社内の神前に愛嬢の多幸を祈り、祖先の故郷を懐しむ。東京都職員共済組合丸ノ内診療所長、会津出身の宗像八郎氏。血は水よりも濃い ○迫及、斗争、蒸発、面白くない言葉は、さる年に消えさってほしいもの。

（白雲）

1968
交通安全宗像大社の 御神徳をたたえ奉りて
謹しんで新年の御祝詞を申し上げます
（順不同）

福岡トヨタ自動車株式会社
取締役社長 金子道雄
福岡市千代町二丁目六十一番五号
電話 代表(76)三三三一番

福岡日産自動車株式会社
取締役社長 安藤信夫
福岡市薬院大通二丁目四ノ一番地
電話 大代表(64)三一六一番

北九州日産モーター株式会社
代表取締役 松本虎次郎
福岡市比恵屋敷町三三番地
電話 代表(65)一八三一番

北部九州いすゞモーター株式会社
取締役社長 寺坂勝次
福岡市白鷺町六十番地
電話 代表(65)六二三一番

福岡マツダ販売株式会社
取締役社長 吉田干治
福岡市白鷺町五十六番地（国道筋）
電話(65)二七三一～九番

株式会社梁瀬福岡支店
支店長 堀定良
福岡市平尾新川町三六ノ一番地
電話 代表(52)一二二一番

九州三菱ふそう自動車販売株式会社
取締役社長 早瀬彰
福岡市薬院大通り二丁目七二番地
電話 代表(52)一三一一番

一月のまつり

一月一日　元旦祭
午前五時

年始に当って一年の福徳を祈り、あらゆる仕事始めを祝う祭、当社では国家隆昌、産業繁栄、大漁満足、特に交通安全の大祈願祭を行う。

午前〇時、除夜の鐘を合図に、一斉に多くの車が群集し、境内は車でつめつくされてしまう。

新車を購入したオーナーは必ず当社に参拝して一年間の安全を祈願する。

一〇日　恵比須祭
午前十時

俗に十日エビスの祭りという。境内末社蛭子社に於いて商売繁昌の祈願祭を行い、続いてお座が行われる。

一三日　献米奉告祭と鏡餅開き
午前十一時

旧年中に献米袋を配布して郡内より奉献された米を新年にあたって神前にお供えし、また新穀によって作られた鏡餅もお供えし、祭典終了後奉献された鏡餅をいただくこれは生産感謝のまことをささげ、また今年の幸福を予祝する行事ともなっている。

一五日　成人祭
午前十時

戦後定められた国民の祝日。この日までに満二十才に成人した青年男女を祝福する祭りである。

成人に達した事を自覚し、義務と責任について深く考え、誓いを新にする。

宗像談話室　末ッ子談義

「お父さんはいけません ヨ、上の子たちには厳しかったのに、末ッ子だけを甘えさせては」と。狸住庵夫人のめじりをあげての抗議。なるほど、末ッ子の高校侍は、何かにつけて母親にわがまゝを言う。それを傍でニヤ〳〵笑いながら見すごす父親の態度が、気に入らぬらしい。

「いけないのは、わが襲だけではなかろう。そちらの夫人も亦、叱るように見えて、わがまゝを言わせているではないか」と。

但し、これは言葉に出さず、心の中の独語と聞いてもらいたい。末ッ子だけが甘えているのではない。親に甘えたいのは、どの子も同じこと。地震や雷と同列に、やかましい恐ろしい座におかれて、おやじだけが憎まれたくもあるまい。然し、人間の味には辛いものと甘いものとが、かみ合わされて調和と云うハグルマが廻ってゆく。その調かつ油が愛情。

弱点は母が女性であるところにある。高校侍は父の前で、折々はわがまゝの片鱗は見せても、学校帰りのすき腹に同情してのラーメン代ねだりはしない。必ずと云える程、舞台裏の交渉で、母親からせしめている。母性にも必然の甘い愛情のもろさのあること、神様とは、一視同仁の親の愛情である。年上の子が年期にある頃、その父は若い。体力的には精気が充実している。反対に人間的には極めて未熟である。社会的にも安定しない立場で、一寸した不満が、子供への厳しい制裁となって現れる傾向は否めない。よいことは言えないが、一般的に父親としての欠陥とも思える。

末ッ子が育つ頃になると、父親は五十歳或は六十歳の初老中老の子と比較して、抵抗を示す末ッ子に対する父親の甘さをなじるようになる。

こう考えてくると、厳しさを失って、末ッ子の人気に、点数をかせごうとする父親の態度が、末ッ子をわがまゝにしていると解釈されるのであろう。

だが、多くの家庭でよく見られる傾向は、総領の甚六で兄は比較的におとなしく、弟になる程腕白者が出てくることである。

「兄の十郎、弟の五郎」と世俗によく言われるが、曽我の十郎祐成はやさしく、弟の五郎時致が気の荒い青年であったと、富士の裾野の仇討が伝えている通り、この傾向は本質的な兄弟のあり方かも知れない。

年上の子の場合と、末ッ子の場合と母の言い分は逆になるが、こゝにどこの家庭史にも共通した妙味が感じられる。然し、父親が甘えさせると言われる末ッ子が、必ずしも一番幸福とはきめられない。

世上の辛さは容赦なく誰にも同じ。末ッ子のわがまゝを難ずる母親自体、抵抗をやわらかく扱う甘さが、不幸の原因を作る場合もある。「下手の長談義」となって、まことに恐縮。

——狸住庵茶話——

西鉄バス　赤間営業所新築成る

北九州市と福岡市を結ぶ国道三号線に於いて、丁度中間地点に位置する西鉄バス赤間営業所の社屋が、この程従来の同営業所の裏の方に新築完成した。

去る十一月二十一日、その竣工祭が宗像大社楠本祢宜以下奉仕のもと、西鉄の楠根社長を始め、社員、工事関係者、関係町村長、その他多数参列のもと広い式場を埋める盛況のうちに斎行された。

バスは地域住民の足であり、交通機関はその地域の開発と発展の大きな原動力。先きに完成した福岡教育大学がすぐお隣り。社屋の裏手にその一部を望む事が出来る。通勤通学の時間には、同営業所はラッシュとなる。

また、直方、鞍手方面の出入り口としての要衝でもあり、今までの営業所が国道三号線に面しており、乗降時にはバスの側面を大型ダンプが通過する等停留所並みの状態であったので、狭い老朽化した建物を取り壊して新築する事になったもの。

通勤利用者からも改善の要望があり、近頃利用者の急増によって新築工事も急ピッチに進みこの度竣工した。

この敷地が一四、二二五平方メートル、建坪二、五三六平方メートル、総工費一億数千万円、鉄筋コンクリート二階建の白い建物である。

バスの営業所が兼ね、整備工場も附属している。広い敷地は、バスが三十台程駐車でき、楽に回転できるようになっている。これから前面にある従来のバス発着所を改築するとのこと。間もなく、見違えるようなバスターミナルが出現しそうである。

近くには、東海大学や、森林都市等もでき、着実に進展しつつある。貸切バス営業所も兼ね、整備工場も附属している。広い敷地は、バスが三十台程駐車でき、楽に回転できるようになっている。これから前面にある従来のバス発着所を改築するとのこと。間もなく、見違えるようなバスターミナルが出現しそうである。

近くには、東海大学や、森林都市等もでき、着実に進展しつつある宗像郡にとって、ここにまた大きく飛躍する為の足がかりが出来たといえよう。

宗像郡内を走る路線も幅員の拡大、舗装と整備が進み、一方新団地の出現によって利用者が漸増している為、運行回数も多くしたいとの事。郡内が次第に狭く便利になる日も近い。

（写真は新しいバスターミナル）

〝栗組〟愛の贈りもの　宗像緑風園へ

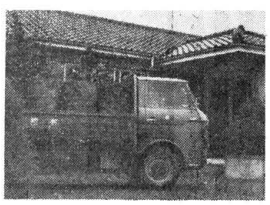
去る十二月十七日、栗組柴田社長の善意の贈もの＝重油＝が宗像緑風園に届けられた。

緑風園のお年寄達に、厳しい冬を暖かく過して頂きたいと、昨年迄八本のドラム罐を十本にして差上げている。

柴田社長は当社崇敬家の一人で六年前、当社久保宮司からの依頼に快く応えられて以来、毎冬この重油寄贈を続けられている。

この重油によって、緑風園のお年寄方は、寒い間毎晩入浴出来るとの事である。

これより先、先月初旬に当社職員が尚寒の頃となりましたので、恒例の重油の件につきまして、と柴田社長にお願いしたところ、既にスタンドに発注済みで、配達の手配をしていますとの御返事。当日には、雨の中を吉畑から赤間迄出向かれる等真心の籠った贈りものであった。



（緑風園へ届けられた重油）

皐月宮境内地広がる

宗像を流れる釣川が玄海に注ぐ河口に五月橋がかかっている。この五月橋から百米上流の地点に境外末社皐月宮がある。

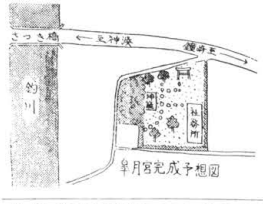
この皐月宮周辺の土地が、この程、地元各位の協賛によって大社に譲られる事になった。

これは例年五月五日に行われる五月祭りに際し、境内地が狭く、由緒ある祭りを行うには粗末過ぎるとの声もあってこの度の拡張となったもの。

拡張面積は約四十アール（四反五畝）である。

当社の由緒を繙くと、昔は〝五月の浮殿〟と言われ、五月五日に郡内の神々がここに会され、この後郡内の各地をお巡りになられた等数々の故事がある。

この広大な境内地の整備計画が各種練られているが、其の一つとして、現在の五月宮附近を砂利敷きの祭場とする案が有力である。



皐月宮完成予想図

社務日誌抄

十二月一日　勅祭清願達成祈願祭斎行。復興整備計画土地関係懇談会神饌に於て開催。

二　日　出光興産同司支店独身寮青雲閣竣工式行なわれる。葦津権宮司、升谷、城戸権祢宜奉仕。宗像森林都市赤木家地鎮祭、山田出仕奉仕。

四　日　正月参拝車輛について打合会開催。宗像警察署、宗像土木事務所、西鉄赤間営業所、田島消防団、保健所関係者出席、正月参拝車輛誘導警備について打合せた。特に本年は釣川沿線の参拝道路が工事中の為、東郷駅側だけとなる。

六　日　復興計画案鳥瞰図出来る。福岡教育大学美術科製作。

八　日　太宰府天満宮余香殿落成式出席の為、久保宮司、宇都宮祢宜出席。本日年越の大祓用人形発送す。

一〇日　栗組柴田社長、出光興産佐藤総務部長参拝。

一一日　定例職員会議開かる。

謹賀新年

白砂青松の中に
玄海灘を望む
玄海ゴルフ場
福岡県宗像郡玄海町
電話　一一一六五番

賀正
マイ・バンク
福岡銀行
宗像支店

1968
交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて
謹しんで新年の御祝詞を申し上げます
（順不同）

福岡トヨペット株式会社
取締役社長　川本節雄
福岡市大字比恵九二番地
電話代表㊹一一二一番

博多日産モーター株式会社
取締役社長　木内三郎
福岡市大字那珂字淵高一〇六番地
電話代表㊹六六三一番

福岡いすゞ自動車株式会社
取締役社長　渡辺藤吉
福岡市比恵新町一二一番地
電話代表㊹一一四一番

株式会社マツダオート福岡
取締役社長　西亦次郎
福岡市比恵新町一八番地
電話代表㊺六〇三一—六番

福岡ダイハツ自動車株式会社
代表取締役　杉目昇
福岡市比恵三五番地
電話代表㊺一三三一番

福岡日野自動車株式会社
取締役社長　植竹陽介
福岡市堅粕御塔後一三九五番地
電話大代表㊹一一七一番

九州三菱自動車販売株式会社
取締役社長　西崎克己
福岡市薬院露切町三一番地
電話大代表㊷一四一一番

申年あれこれ

明けましてお目出度う御座います

初日の出と共に昭和四十三年が始まりました。今年は神武天皇の御即位より二千六百二十八年、又、キリスト生誕より一千九百六十八年目です。それに閏年（うるうどし）となっています。また干支は戊申（つちのえさる）方位は西南西となります。そこで申年について何か書け！と編集長がゴリラのような顔をしてほえますので猿知恵をはたらかせてそこはかと無く書き綴ることにします。

大体、干支などと言うものは、古代中国の殷の時代に発明されたもので当初は日を数える方法でありましたが後にはこれを使って月や年を呼ぶようになりました。吾国に伝わりまして何時の頃よりか迷信的暦法がこの干支に結びつきまして今日では迷信の原理のような有様になりました。十三支に子をネズミ、丑をウシ、などと動物を当てはめるのは、まことに荒唐無稽なことですが、しかし、ここから申年は猿年であるから猿について書け、などと言う悲惨な事態が生じますから怖しい事です。

猿は動物的には霊長類のことでありますが通俗的には、その中の人類とツバイ類（マライ地方に産するリスによく似た小獣）を除いたものをサルと呼んでいます。サルとヒトには明確な相違はありません。知能が高く言葉を使うのは人類の大きな特色で、これは大脳の聾覚領と総合領が発達した結果でありますが、ヒトニザル類の大脳も人類の域にかなり近ずいています。亦ヒトの体に毛が少いのはヒトの特色のように見えますが、物語の世界でもサルが主役を演じる場面が極めて多く、御存知「猿蟹合戦」でも常に悪役をやらされています多分むかしむかし、サルより劣る奴が己れの知恵のささをひがんで作ったものかも知れません。

「つちのえ」のさるの足跡をたどってみますと、先ず和同元年戊申年、吾国初めての貨幣であります和同開珍が鋳造されました。この年から日本民族は財布の中を常に心配する気の毒な習慣がつきました。亦明治四十一年十月十三日、明治天皇は戊申詔書をお下しになり日露戦役後人心が浮華に流れるのを戒められました。

ともあれ今年は「見ザル」「聞カザル」「言ワザル」の三猿主義を排撃してお互い大いに発展しようではありませんか。

八百年の伝統　古式祭とお座

十二月十五日午前六時、暁闇の寒風をついてひときわ太鼓の音が轟く。拝殿では古伝の神楽歌が奉唱される。

千早振る第一宮の木綿襷
掛けての後は楽しかりけり

ここに盛大且つ厳粛な古式祭が斎行された。

この祭りは実質的な新嘗祭ともいうべき行事で、その起りは古く当社では建治元年（一二七五）の社記以来八百年からの伝統を誇っている。

祭典の神饌には古式による特殊神饌（麦餅、九年母、ゲバサモ）がお供えされる。祭典後の午前六時半清明殿に於て郡内各地から馳けつけた人々によって、古式による神人相嘗のお座が開かれている。

地元氏子会が主体となってお座券が配布され、早朝の吹雪がちらつく中を人々は三々五々と参拝し、お座に着く。一番座百名になると神職のお祓いが行われる。

次に当番者が、古式によるお座の縁起を読み上げる。お座にはつきものゝ「くじ符」が配られ、その年の運勢をかけた「くじ符」は最後の開符までふところに仕舞われ、やがて御座の儀式となる。

新莚に座って忌穂（神饌のしるし）の刺し立てられた御飯を栗の餐でいただく。

神に新穂をお供えして人も共に頂くという神人相嘗の厳粛な行事である。新莚に居並ぶ人々の胸には一年中の労苦がかえり見られ、今ここに神と一緒に食事をするその静かな感概が一杯となってくる。

（写真上神と共に食事するお座）

（写真下福くじ当選者氏名）

× ×

えーい　シャンく
も一つ　シャンく……
おめでとうございます。
めでたい手じめの唯一で一番座は終る。

御座の順序は、
一、祓　二、幣引　三、挨拶
四、神渡　五、打込み
六、福くじ　七、打込み
八、汁　九、供物

となる。くじに当った人も、はずれた人も神と共に過ごした一時を感謝し、喜こびながら爽気の早朝家路へと急ぐ。

八百年の伝統を誇る古式祭は、氏子の手によって尚も続けられ、正午の打上げを最後に年の掉尾を飾って厳かに幕を閉じていった。

＝勅祭社昇格＝　宮内庁へ請願書を提出

十二月二日、午前十時、その日大内山は霧のような小雨にぬれていた。

勅祭社昇格請願書提出の為、当社久保宮司他関係者一同は宮内庁へ参向した。

宗像神社は、其の由緒の上から天皇陛下御自ら御祭りになられる社にして戴きたいとの請願は官幣大社の時代、遠く昭和二年より始められ、一時その実を結ぶかにみえた。しかし、歴史上未曾有の敗戦によって、勅祭社昇格の夢は壊されたのである。

戦後、民心の安定と共に、この運動は澎湃と湧き起り、去る昭和三十五年勅祭請願書を提出、今回で戦後二回目を迎える。

一時間に亘る宮内庁掌典職等の手続きを終えて久保雄宮司は神社本庁岡田米夫調査部長と共に宇佐美毅宮内庁長官に面会、追願書の提出を行った。宇佐美長官も宗像神社のこと、懐かしく思い起されたようである。内務省に勤務していた頃、用務にて神津宮に参拝、大空に紫雲のかかるを見て、大神の霊験顕著なるを知り、深く感銘今に於いても当時の光景を忘れる事が出来ないとの事である。

おりから大内山は新宮殿が完成その建築の美は正に陛下の御座所に相応しく、国民の喜びこれにすぐるはない。

午前十一時三十分、宇佐美長官との面会を終り、掌典職等に挨拶をして宮内庁を辞去、折からの雨もやみ、丸の内界隈は霧がたちこめていた。

勅祭社請願の理由は、遠い神代の昔、天照大神が宗像大神にくだされた御教え「皇室を守護するとともに、皇室から祭られなさい」によっている。これはまた広く国民を守護するとともに国民から崇敬される社たるべき事を示していると言える。この姿を正しくしたい、これが請願理由の一つである。

昭和四十三年度　大麻頒分式と氏子会総会

昨年十二月五日、午前十時から当神社清明殿に於て、宗像郡内に於ける昭和四十三年度の伊勢神宮大麻並びに当大社大麻（御神札）の頒布式が熟り行なわれた。

当日はあいにく早朝から小雨模様。清明殿の神前に真新しい大麻が各校区毎に積重ねられ、当神社氏子会評議員、総代と郡内の神職、郡総代会長、敬神婦人会長等七十余名が参列し、簡日宗像支部長代理斎主のもとに厳かに斎行された。

祭典終了後、先づ国家斉唱次いで来賓の県神社庁長代理、当大社久保宮司が挨拶した。

引続いて同十一時から社務所に席を移し、当大社氏子評議員会（三十七名出席）を開催した。

先づ吉武氏子会長挨拶、続いて久保宮司が、当大社勅祭社御加列及び、復興計画について概要を述べ、評議員各位に、"宗像神社勅祭請願署名簿"について説明お願いした。

勅祭等に関したことでは清祭なる意見、質問が出た。なごやかな内に昼食をし、午後二時頃散会した。

（写真下は大麻頒布式）

新春ラジオ放送に　宗像大社参拝案内

一年の始めを祝い、今年の交通安全を祈って当社に参拝する車輛が多い。この為、カーラジオを通じて交通安全をPRしようと二日から六日までRKB毎日放送を通じて一日五回スポットを入れる予定である。

賀　春

宗像大社御用達

有限会社　大和印刷所

宗像郡宗像町東郷　電話　宗像2027番

魚信

師走の川面に小雪交りの西北風が容しゃなく吹きつけてくる。冷たさを超越しての寒釣も亦楽しい神社前釣川の下流では愈々寒ボラのシーズンに入った。ボラは出世魚と称され、成長につれて名が変る。普通小形をイナ、大形をボラと云って区別しているが、又、オボコ、スバシリ、イナ、ボラ、トドと連む呼び名もある。俗に「トドのつまり」とはこの事に由来する。

釣川のボラ釣りのポイントは吉田橋より五月橋の間、引汐の時に溜りをねらい、静かに振り込んで魚信（アタリ）を待てばよい。

釣り方には様々あるが、釣川では主にウキ釣りが用いられている。竿は軟調子三間半～四間。道糸二号。ハリス一号半。ハリはフランス五号。ウキはピンポン玉小型。餌はゴカイ又はキジ。

当りは、急にグイと引込んだりウキがフワーと流れ出したり、ゴツンと来たりして千差万別であるので、それらしいウキの動きを感じたら竿先を上げ、静かに糸を張り、重みを感じたら一気に手もとに寄せるようにして引きあげる。強な当りの割には簡単にはね上げ易い。

ボラは泥臭いと云って一般には敬遠され勝ちであるが、秋から冬にかけてのボラは、サシミ、生干し、ミソだき等格別の味がある。

1968

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹しんで新年の御祝詞を申し上げます

（順不同）

トヨタパブリカ博多株式会社
取締役社長　久恒鉱造
福岡市薬院二丁目四番一号
電話㊼四三四五㊹二四三六～九番

トヨタパブリカ北九州株式会社
取締役社長　永田忠
北九州市八幡区黒崎大字熊手三七ノ一
電話㊷四九三一～五番

日産サニー福岡販売株式会社
取締役社長　甲斐島衛
福岡市業光寺深町二一七ノ一番地
電話代表㊹四一三二番

日産サニー北九州販売株式会社
代表取締役　菊竹保平
北九州市八幡区穴生字古作浜一七八〇番地の一
電話代表㊷二一三六番

日産プリンス福岡ヤナセ株式会社
代表取締役　岩永政定
福岡市露町一四五番地
電話代表㊷一二二一番

国際モータース株式会社
取締役社長　中井隆
福岡市白鷺町七番地
電話代表㊺八一三一番

九州スズキ販売株式会社
取締役社長　内野庄八
本社　福岡市下呉服町九番三二号
電話（代表）㉙八〇六一番
比恵営業所　福岡市白鷺町五四二番地
電話（代表）㊹五五七五番
支店　北九州・筑後・大牟田

宗像大社献詠 俳句作品集（六十一）

落葉焚くひとり夕日に顔を染め　福岡　広田　美津

夢を追ひし師走の武者のあはれなる　京都　大石さくら

与五郎を待つ身のつらさ江戸の雪　東京　堀部　冬作

離れ住む吾子訪ひ行きぬ柿の秋　大井　吉田　杏子

熟稲の匂ひにまみれ稲架を組む　大井　吉田　和子

呼びとめて菊切るしばしあわせに　大井　木原　房子

濃紅葉や文登ることなき山に　大井　安部　重郎

日めくりの残り少なき朝寒し　久留米　篠田太郎坊

夕やみに音たて過ぎる師走風　田島　斎藤　惇

朝冷を思えば鴉の初鳴きす　宗像　中野　きみ

日暮れどきほゝも赤らみかえる子ら　田島　楠本　正

望稲架に干葉かゝりて留守なりき　佐賀郡渡　耕喜

出光佐三一問一答シリーズ ⑰

マルクスが日本に生まれていたら

生産的潜在能力の開発—流通機構—

そこで調和のとれた形にするということで、まず第一にみるべき点は生産的な資源、生産的な潜在能力というものと、その十分な利用との間の不均衡というものに、大きな発展のもとを見出すべきである。

そこでこの不均衡な一六才の子どもの不均衡をなおすために、伸びすぎた足を切ったりしないと同様に、不調和をなおそうというときには、まだ発育していないものの発育をうながすか、あるいは伸びるのを待つかということで調和の取れた形にするといえる。

経営とは何か

PFドラッカー

か流れなかったものに大量のものを流せるような機構を考えるべきであり、もう一つの潜在能力は知識である。

生物学には、一つの生きものの組織が必要とするエネルギーの量べきである。

も当てはまる。

企業の潜在能力というものは、会社全体の大きさでなく、むしろ最も大きな資源というもので測定される

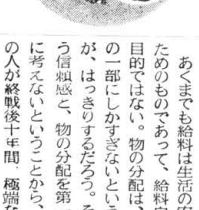
ことで調和したら拙だから、承知しましたと言って、給料を上げないと発表した。しかしぼくは給料は上げるべきものだという考えがあるので、事実は自分の手もとで昇給させて、それを預かり、積み立てて毎年金利もそれにつけておった。三年ぐらいしたら景気がなおって、もう親会社の日石も給料を上げることになったから、そこでぼくは君らの昇給はこうなっている、といって発表すると同時に、三年分いっしょに上げたことがある。そしてその間の昇給を貯蓄してやっておったので、皆の貯蓄心の養成にもなった。それだから、給料は好景気・不景気によって変えるということはやっていない。そういうことが、やはり長い間に自然に生きた教訓となって、信頼感が出来てきたと思うね。

あくまでも給料は生活の安定のためのものであって、給料自体が目的ではない。物の分配は、人生の一部にしかすぎないということが、はっきりするだろう。そういう信頼感と、物の分配を第一義的に考えないということから、出光の人が終戦後十年間、極端な耐乏生活もできたわけだ。ぼくは終戦後、毎年、君らに耐乏生活をやらして申しわけないと言いつづけてきた。そして皆も「そんな金のことばかり言わないでやりましょう。」と言ってやってきたんだ。これなど二面から言えば、日本人の金を離れた勤勉の現われだよ。勤勉というか、金や物以上にもう一つ尊いことをやろうという気持の現われ、あるいはぼくの心持に報いるといったほうが適当かもしれんが、これが日本人独特のあり方じゃないかと思うね。

こうして給料は仕事に対する報酬ではないとすれば、それでは、本人に対する報酬はなにかという

ことになるが、それは適材適所によって自由に働かせ、人生を楽しませることである。日々の仕事を楽しんで時間も忘れ、公私の別も忘れて愉快に働くということが、ほんとうの人生じゃないかね。こういうふうにして人生を楽しませることが報酬だ。こういう金を離れた心と心のつながりを、日本人はもっている。これが平和・福祉の基礎であるということじゃないかね。だから、日本人はなにも物の分配論なんかにとらわれたり、人間を金のみで評価することなどを考えなくてもいいじゃないかと思う。「物の国」の人は、こういう人間の尊厳というものを知らないから、労働を切り売りし、物を中心として対立闘争することになるように思われてしょうがないね。

それから次に、残業手当を社員が受け取らない。これは戦後、労働基準法で時間外手当をやらなければならないことになったから、やったところが、だれも居残りしなくなった。どうしてかと聞いてみると、自宅でやっているというんだね。そして「私たちは仕事が残っているからやっているのであって、手当を貰うためではない。



上げてきている。

これについて面白い体験がある。大正九年のパニックが起こったとき、当時出光は、日本石油の特約店だったが、親会社の日本石油は昇給をストップした。しかし出光は、例によって給料を上げていたんだ。そうしたら日石から抗議が出て、親会社が昇給を止めているのに、特約店が給料を上げるとは何事だ、と言うんだ。こんなというものは、その全体に比例するものではなく、その一部の最も発達した部分が必要とするエネルギー量であるという一つの原則がある。それに似たことが企業体に

アメリカの一つの例として事務機械、事務設備というものは、一般の商品の売上げからみると、最も量が少なく、額も少ないと思われる。ところがこういった事務機械類の販売機構が、アメリカの販売機構の中でいちばん大きいものだということがいえる。

たとえば、アメリカにミメオグラフという輪転式の謄写版を売っている会社がある。これは非常に大きな販売網をもっていて、他の製品があれば、楽に十億ドル程度の売り上げをなしうるものである。ところがこの会社が実際に売っている量は、八千万ドル程度のものであり、ほんとうの力の十分の一以下にしか利用されていないということが言える。この謄写版のセールスマンはコミッション制なのであるが、扱える量がいくら多くても実際売れるものしか売らない。したがってその力が十分に利用されない。しかもコストはそのセールスマンを最大に利用した場合と同じだけかかっている。

セールスマンが十分にその力を発揮しようとしまいと、地区的なマネージャー、支社のマネージャー、本社のスタッフなどの大きなコストがかかってくるわけである。

（つづく）

（つづく）

第七九回 宗像大社献詠歌会詠草

十二月二十日　於社務所詠草到着順

大井　村山　幸生

豊年の秋の訪れ告げながらみそのに匂ふ栖のもみぢ葉　遠賀　長畑　房江

ほの暗き路に目覚めけさも又ひときわ青く大き星見ゆ　田熊　小野角次郎

さらさらと谷川流れ月の及ぶ水に写りて紅葉の赤し　武丸　立石ちせの

今年こそ末子の嫁をまとめんと気負ひしもならず柿落葉掃く　津屋崎　占部　由久

悠々と大き輪をかく鳶の影初冬の窓に見えかくれて　宮田　北原キミ子

あえぎつゝカルスト地帯登りきてそばの花咲く畑にこえり　宮田　片山　一

滝壺の岩にそ立ちて比沙門天水かれかれの滝に対へり　宗像　八波　五月

沖縄はアメリカの領土と答えたる若人の顔に信念はなし　香椎　桜井　ツ子

野の家のみ冬ひそかに籠らへば櫟落葉の音も聴くべく　久留米　篠田太郎坊

悠々と大き輪をかく鳶の影初冬の窓に見えかくれて　宮田　北原キミ子

あえぎつゝカルスト地帯登りきてそばの花咲く畑にこえり　宮田　片山　一

滝壺の岩にそ立ちて比沙門天水かれかれの滝に対へり　宗像　八波　五月

沖縄はアメリカの領土と答えたる若人の顔に信念はなし　香椎　桜井　ツ子

野の家のみ冬ひそかに籠らへば櫟落葉の音も聴くべく　久留米　篠田太郎坊

おのがじし心に思うこと持ちてくがに歩く年の瀬の街　村山田　吉田佐市郎

ここかしこ脱穀機音絶え間なし取納に明け暮る山里の日々　津屋崎　麦野　時雄

山陰の凪の磯辺はすみきりて底の色模様透きて見ゆるも　福間　井原　元彦

北上の川面は白く雲をうつし昔をかたる中尊寺かな　勝浦　永島　文子

岩を喰む白波の間に真紅なる大鳥賊はねるし息吹も荒く　宮田　片山　朝子

荷は緩き坂下にとめふれてくる老爺の魚たべらわず買う　大川　武下　一郎

さきかけて広瀬武夫の銅像を再び建てしまうらをの友　田熊　鷲頭かつ代

敷きつめし砂利を均らせるローラーの真下に置かむ菩の雑念　福間　松尾　豊

年賀状書き進みつゝもうらさびし恩師とふ人失ない尽し居り　名島　久保　房江

つぶらなる赤き実つきの殊によき万年青を生けて新春（はる）寿がん　福岡　江崎　琴子

（寺塚与宗寺に献でゝ）

柿もみじ濃き禅寺の山かひに苦むしならぶ義士のおくつき　陵厳寺　真鍋　万三

此の吾は何ぞ吾か知らずして我ばかり働いてゐる　吉武　原田　リノ

ゆっくりと飯を食べよとむづかる児を抱き来し夜道ゆく所なき　東郷　藤崎　辰子

初産の娘の院へゆくバスの膝房に昂りし吾の唇は乾く　大井　吉田　杏子

実らざる稲焼き捨てる農民の悲しみ思ふ稲を刈りつゝ　大井　吉田　和子

いとけなき四才の孫の入園の試験合格と電話を受けし　大井　安部　重郎

君は何に君はひとりそと教え子のその仕事なと聞くも楽しき　大井　安部　静子

みちのくの吾子を尋ねて幾日かも紅葉の蔵王にはるばると来し　別府　土性　ヨト

正しきを我信念と生き貫きし老いの身寂しく病みて旅路に　深田　中野　洋子

古里の父に持ちゆく鶏の体温ぬくしバスにゆれつゝ　田島　白雲　山人

陰陽師はらひに踊せし師走なれば心きよめて春にあはなむ　田島　宇都宮　弾

子供ずれ手伝ならぬ休日を笑顔でせのす故里の父母　田島　楠本　正

池の面の落葉はひたと流れゆきひそみし鯉の息つきをしる　田島　斎藤　惇

ひょうふ山夕日にはえて紅葉の思い忍ばゆ古郷の山は　佐賀　都渡　耕喜

今日もまた師走の風に過ぎゆかんあとふりむけばいとどわびしき　田島　末安　大孝

玄海のはげしき波浪いついえむ君によせゆく想いのまにまに　田島　乙守　信平

木枯しの吹きてうらぶる木立にも昨日とぞおもう青葉紅（あか）葉は

新年おめでとうございます

○玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

あけぼの荘　電話神湊66番
高嘉旅館　電話神湊50番
千成旅館　電話神湊46番
米屋旅館　電話神湊111番
千鳥荘　電話神湊68番
玄海旅館　電話神湊1番
大島屋旅館　電話神湊31番
魚屋旅館　電話神湊22番
喜楽旅館　電話神湊19番
みなと荘　電話神湊56番
松風荘　電話神湊120番
友楽旅館　電話神湊6114番
泉館旅館　電話神湊35番
さつき荘　電話神湊30番
玄洋荘　電話神湊172番
川口屋旅館　電話神湊48番
勝浦荘　電話神湊6170番